



8/11 (土)

水とロマンの祭典 テーマは「びわ湖への感謝」

「いろいろな恵みを与えてくれるびわ湖に感謝しよう」がテーマのこのイベント。
水産資源の回復を願いニゴロブナなどの稚魚およそ2万尾の放流でイベントの幕が開けました。会場中央に設けられた特設ステージでは、地元の保育園児によるかわいらしいダンスに加え、琵琶湖への感謝の気持ちを叫ぶ「大声コンテスト」なども行われ、祭典を盛り上げました。



8/6 (月)

みんなの想い夜空に咲く

「長浜・北びわ湖大花火大会」が長浜港湾一帯で開かれ、夜空と湖面をキャンパスに描かれた夏の風物詩に10万人が酔いしれました。琵琶湖上の台船から打ち上げられた花火は、「戦国花火絵巻」をテーマに6幕で構成され、大河ドラマ「江〜姫たちの戦国」のテーマソングにのせた音楽花火など、趣向を凝らした演出が観客を沸かせました。



7/31 (木)

これは誰の指紋!?

虎姫コミュニティセンターで「ドッキドキ!鑑識体験」が行われ、長浜署刑事課鑑識係の警察官が指紋の取り方を子どもたちに伝授しました。
ドラマなどで見たことはあるものの、指紋の付いた場所に刷毛でアルミニウムの粉をつけるのが意外と難しく、子ども達は警察官らにポイントを聞きながら、真剣な表情で鑑識体験に取り組んでいました。

ほっと にゅーす

このコーナーは、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。
あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）まで事前にお知らせください。

子ども達のより良い学びのために

「長浜の未来を拓く教育検討委員会」では、市内の県立学校のあり方について話し合い、滋賀県と県教育委員会への提言を行うとともに、これからの教育・人材育成のあり方について検討を進めています。
8月22日に開催しました第10回会議の結果についてお知らせします。

○第二次提言に向けた議論が交わされました

会議では、第二次提言に向けた検討項目の一つとなる「長浜市における高校のあり方」などについて、活発な議論が交わされました。

【主な論点は次のとおり】

- (1) 特色ある学校づくりの推進
- (2) 職業系専門学科の改編等
- (3) 学校活力の維持向上
- (4) 定時制課程の見直し
- (5) 中高一貫教育校の方向性
- (6) その他（全県一区制度の影響など）

○「意見を聴く会」の報告がありました

県教育委員会が開催した「地域の高等学校教育のあり方に係る意見を聴く会」の結果について、参加した3つの教育関係団体（長浜市教育委員、長浜市学校運営協議会、長浜市PTA連絡協議会）から報告がありました。



「地域の高等学校教育のあり方に係る意見を聴く会」の様子

委員会では引き続き具体的内容について議論を重ね、まとめ次第、第二次提言を行う予定をしています。

※一次提言書やこれまでの委員会資料や議事録は、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

高校再編や人材育成などに関するご意見は、メールまたは書面にてお寄せください。いただいた意見は、検討委員会に報告します。

企画政策課（☎65-6505 Eメールkikaku@city.nagahama.lg.jp）



8/4 (土)

源流の里に集まれ!

淀川最北端の源流である「高時川」や丹生ダムをもっと知ってもらおうと、余呉町上丹生の「茶わん祭の館」で水源の郷まつりが開催されました。
当日行われた様々な催しの中でも、盛況だったのが魚つかみ大会。施設内の池に放たれたアユを、子どもたちが歓声を上げながら追いかけて、捕まえると誇らしげに笑顔を見せていました。



8/4 (土)

寺島実郎氏 来浜

『「日本経済の展望」～激動する世界の中の日本～」と題し、経済評論家 寺島実郎氏による経済講演会が長浜信用金庫主催で開催されました。約440人が来場し、共催する市では本年度策定した「産業振興ビジョン」の紹介を行いました。講演では、長浜の経済戦略について、経済成長が著しいアジアの発展に伴い、日本海・敦賀への距離的利点をあげ、またバイオ技術を活用した市民参加の産業創出が語られました。



8/5 (日)

「ようお参りやす」

渡岸寺観音堂（向源寺）を中心に毎年開かれている観音の里ふるさとまつり。「8月が来るたびに観音様に会いに来る」というリピーターも多く、観音巡りバスは大盛況でした。境内では、歌や太鼓、踊りなどのパフォーマンスのほか、商工会女性部開発のB級グルメ「高月キム・チンいなり」の発表もあり、地域の魅力いっぱいのおまつりとなりました。



8/4 (土)

灯りの道をたどって

まちなかを幻想的に彩る「長浜あかりみち」。きらびやかな灯りと涼を誘うガラスが、夜の長浜のまち並みを幻想的に彩りました。訪れたカッパルや親子づれたちは、「きれい」「素敵」と感嘆しながら光のファンタジーに酔い他にもあんどん作り教室やコンサートが開かれ、素敵な夏の夕べとなりました。